

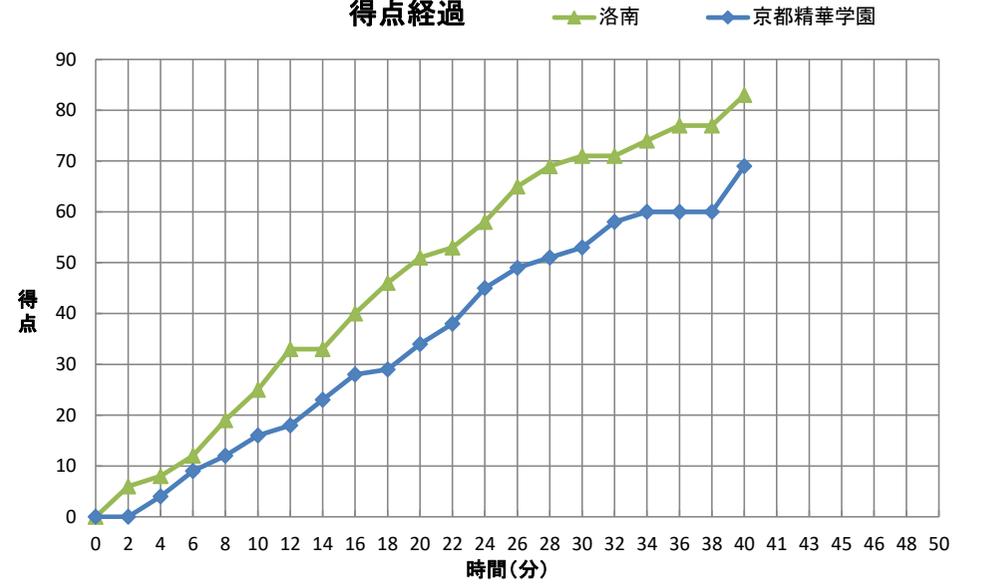


第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

男子		11月2日				13:50 開始																	
決勝リーグ		島津アリーナ京都				Bコート																	
◎	洛南	83	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>26</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>16</td></tr> </table>				25	1st	16	26	2nd	18	20	3rd	19	12	4th	16	69	京都精華学園			
25	1st	16																					
26	2nd	18																					
20	3rd	19																					
12	4th	16																					
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則										
4	池澤 智史	-	-	-	-	-	1	木下 梁	-	-	-	-	-										
* 5	松本 泰	24	2	9	0	2	2	西村 康太郎	-	-	-	-	-										
* 6	中島 悠登	14	2	4	0	2	* 6	上野 叶翔	9	1	3	0	0										
* 7	佐々木 凌次	9	1	3	0	0	* 7	善山 莞太	0	0	0	0	1										
8	田中 夢大	12	2	2	2	3	* 13	新開 温矢	13	0	6	1	4										
9	井出 巧海	3	1	0	0	0	14	西村 晴太	0	0	0	0	0										
10	小林 祐	-	-	-	-	-	15	西本 圭次	-	-	-	-	-										
11	菊池 瑛太	-	-	-	-	-	17	善山 奏介	-	-	-	-	-										
12	椋 ルイス	-	-	-	-	-	19	竹村 寅治郎	-	-	-	-	-										
13	神原 龍太郎	8	2	1	0	2	21	杉原 拓	-	-	-	-	-										
* 14	中西 慶	9	3	0	0	2	* 23	東郷 然	27	4	6	3	1										
* 15	小杉 思	4	0	2	0	2	32	中村 太優	-	-	-	-	-										
16	レイドラー光寿セバスチャン	-	-	-	-	-	34	キモナ ディエウ	2	0	1	0	1										
17	安川 要大	-	-	-	-	-	35	山崎 燦吾	0	0	0	0	0										
18	方 東昇	-	-	-	-	-	* 77	ソロモン レイモンド	18	0	8	2	1										
コーチ	吉田 裕司					0	コーチ	山崎 翔一朗					0										
Aコーチ	河合 祥樹						Aコーチ	常谷 拓真															
合計		83	13	21	2	13	合計		69	5	24	6	8										
主審: 加藤 毅 副審: 大溝 貴広 副審: 南 宣匡																							

得点経過



CTO	1・2P	3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	13:45	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	11:10	16:01	25:45	35:19	38:14	:	:	:

[戦 評]

ウィンターカップ京都府予選 決勝リーグ第一戦。洛南と京都精華の対戦。

第1Q、両チームマンツーマンで試合開始。出だしは洛南#5と#7のペイントアタックでリズムよく加点していく。対する京都精華は洛南の守りに最初は苦戦するが#77のダンクシュートでゴールをこじ開け徐々にリズムを取り戻す。洛南は#6のカットからのワンマン速攻で点差を広げにかかるが、京都精華の#13が3Pなどで食らいつく。京都精華はディフェンスをゾーンに変えるが、洛南もあせらず対応し、25対16の洛南リードで第1Q終了。

第2Q、洛南は#8#5の3Pなどで点差を15点とする。京都精華はタイムアウトを取り、#23のジャンプシュートなどで得点を重ね、リズムを取り戻す。洛南の#5もダンクシュートで両者譲らない展開が続く。3Pが確率良く入った洛南が終盤リードを広げ51対34で前半終了。

第3Q、京都精華は#13の力強いドライブ、#77のゴール下、#23のディープ3Pなどで食らいつくが、洛南も落ち着いて得点を重ねていき点差を縮めさせない。チームとして徐々にアウトサイドシュートが落ち始めた洛南だが、#5の連続得点で京都精華を突き放す。一進一退の攻防が続き71対53の洛南リードで最終Qへ。

第4Q、点差を縮めたい京都精華はハードなディフェンスから#13、#77の活躍で徐々に点差を縮める。洛南はエース#5が交代し苦しい時間が続くが、ショットクロックぎりぎりの#8の3Pで主導権を譲らない。終盤、京都精華の激しいディフェンスに洛南は攻めあぐねるが、洛南もゾーンディフェンスで京都精華に得点を許さない。最後まで集中を切らさなかった洛南が83対69で勝利した。